

令和6年度2回 釜石市子ども・子育て会議開催結果（概要）

1. 日 時 令和6年10月11日（水）10：00～11：50
2. 開催場所 釜石市上中島児童館
3. 出席者等 <出席委員10人>
八幡英貴委員、木村仁寿委員、松岡公浩委員、高橋仁美委員、赤崎成子委員、
佐々木晴美委員、菊池利行委員、福成菜穂子委員、黍原豊委員、佐藤奏子委員
<市側出席者>
釜石市保健福祉部長 鈴木 伸二
釜石市保健福祉部こども家庭課長 村山 明子
こども家庭課 主幹 前川 奈津江
こども家庭センター長補佐 松下 智子
課長補佐兼子育て支援係長 菊池 喜子
子育て支援係 課付係長 芳賀 沙織
4. 傍聴者 0名
5. 結 果

（1）釜石市こどもの生活状況調査結果の概要について（報告）

議事について、事前に配布した資料に基づき、事務局から説明し承認された。

<意見>

- 「学校の授業以外の勉強の有無・勉強時間と理解度」について、授業以外の勉強と勉強時間は完全に影響しているかどうかは不明だと思うので、因果関係と相関関係をしっかりと分けた方が良いと思う。

（2）第2期釜石市子ども・子育て支援事業計画及び釜石市幼児教育振興プランの評価と第3期釜石市子ども・子育て支援事業計画の骨子案について（説明）

議事について、事前に配布した資料に基づき、事務局から説明し承認された。

<主な意見等>

①第2期の評価について

- 里帰り出産の方への支援について、推進していただき広報活動もお願いしたい。
- 悩みがある保護者等が「こども家庭センター」へ行けば解決できるという距離感を皆さんに感じていただけるような発信をお願いしたい。
- 「父親の育児休業取得」について、取得できない理由として「収入減となり経済的に苦しくなる」という回答がある。育児休業を取得してから給付が支給されるまでに時間があるため、その間給料が減ってしまうため育児休業を取得しない人もいる。このようなケースに対し何か解決策がないかと思っている。
- 上中島児童館の利用者が、最近では幼児の利用者が増えたため小学生の利用が減っている状況である。このことから、市内の遊べる場所がどうなのかと目の当たりにしている。
- 特別な支援が必要な子どものサポートはもちろん大事だが、インクルーシブそのものが市民に浸

透していくことが一番大切だと思う。

- 特別な支援が必要なお子さんが増えていて保育士等の人手が足りないかどうか、職場にニーズや保育士等の声をしっかりと拾って計画の中に取り入れてほしい。

②重点プロジェクトの評価について

→特になし

③幼児教育振興プランの評価について

- 特別な支援が必要な子どもはじっとしているのが苦手だったりして、誰かが見てあげた方が落ち着けるというケースも多いですが、このような保育士の加配等の支援についても含まれてたよと思う。

- すくすく親子教室では、保育所等訪問支援事業を始めている。この事業がもっと広がればいいのではないか。

④第3期の基本理念について

→特になし

⑤第3期計画の基本目標について

→特になし

⑥第3期計画の重点施策について

→特になし

⑦その他

- 少子化が一番の問題だと思う。こども家庭課だけの問題ではなく全庁的に少子化対策の本格的な政策に取り組んでいかなければだめなのではと感じている。

- 若者たちが本当に安心して子育てできるまちにするための政策に取り組んでいかなければならないと思う。

- 高校を卒業する子どもたちの中には、就職先を釜石に希望する子も多いという話を聞く。その子どもたちを大事にしていきたい。

- 釜石に残りたいという人もいるが、逆に全く釜石に魅力を感じない高校生もいる。

(3) その他

次回会議日程についての説明 (1月頃を予定)